

戦略推進マネージャーの連載を広報誌で掲載しています！

今月号から「香川」
をおとどけします

余市の特産品のひとつ、りんご。収穫量、栽培面積ともに道内一を誇っている。

日本におけるりんご栽培の歴史を紐解くと、余市が重要な土地であることを知る。明治12年のこと、日本で初めて西洋りんごの民間栽培に成功した地が余市なんですね。入植した旧会津藩士の大手柄だった。

余市の観光名所のひとつ、ニッカウヰスキー余市蒸溜所の歴史もりんごが始まり。竹鶴政孝さんがウヰスキーをこしらえようと、昭和9年に創業した会社の名前は「大日本果汁株式会社」。ウヰスキーが熟成するまでの数年間、余市のりんごでジュースなどをつくって凌いでいた。当時、発売した果汁100%のりんごジュースが「日果林檎ジュース」。後の社名は、ここからなんですよ。

余市にとってのりんごは、知恵の樹でなく、町が生きる力となる生命の樹に生るなんだな、なんて気の利いたことを思い浮かべながら、創業100年を超える菓子店「香川」へと向かう。三代目の香川由彦さんに話を訊くのはもちろんだけれど、余市土産に名物の「りんごもなか」を求める気持ちも、多分にある。

「さあ、どうなんでしょうね」
「香川」の香川由彦さんは、そう言って首を傾げた。ゆったりとした口調に、昼下がりの長閑な空気がたゆたう。

僕の前には「りんごもなか」が供されている。真っ赤なりんごが描かれた包装紙。かわいいなあ。名物や金賞の文字も刻まれている。香川さんへの質問は、りんごもなかの歴史についてだった。でもね、どうやら、あやふやみたい。(続く)

※「余市の人々。」は、余市町戦略推進マネージャーの江部拓弥（えべたくや）さんが、余市町に関わりのある人物へのインタビューをもとに執筆し、「WEB本の雑誌。」(<https://www.webdoku.jp/column/ebe/>)に掲載されているものを、転載しております。※掲載日 2020.9.30

問合せ 企画政策課 企画グループ ☎21-2117

余市町民自治推進委員の募集

余市町民自治推進委員は一般公募、学識経験者、各種団体の推薦を受けた人など、10人以内の構成で余市町自治基本条例の運用状況の検討などを行います。

今回、一般公募による委員を次のとおり募集します。

■募集人員 若干名

■募集条件

- (1) 余市町内に在住または在勤の人、在学の人
- (2) 令和4年3月1日時点で、18歳以上の人（ただし、20歳未満の場合は、保護者の同意が得られること）
- (3) 委員会に出席できる人

■任期 令和4年4月1日～令和8年3月31日まで

■会議

- (1) 任期中の会議開催は年数回程度で、1回当たりの会議時間は2時間以内です。
- (2) 会議は、平日の夜（午後6時）役場内の会議室で開催します。

■報酬および旅費

- (1) 報酬 会議への出席1回ごとに4,000円（源泉徴収税額含む）
- (2) 旅費 会議への出席1回ごとに1,500円

■応募方法等

受付期間：2月25日（金）～3月18日（金）まで

（郵送の場合は当日消印有効、持参の場合の受付時間は平日の午前8時45分から午後5時15分まで）

所定の応募用紙に氏名、住所、志望動機等を記入し、郵送、持参または電子メールにより次の申込先に提出していただくかホームページの応募フォームにより応募してください。

応募用紙が必要な場合は、役場2階地域協働推進課窓口または余市町ホームページから入手してください。なお、選考結果については、3月下旬までに直接本人に通知します。また、応募用紙は返却しません。

申込み・問合せ 地域協働推進課 広報広聴グループ ☎21-2142 FAX 21-2144

E-mail kouhou@town.yoichi.hokkaido.jp